



防犯機器等の設置・検討について

サスマタや盾は、全校に設置完了しました。多くの人の目を補完する防犯カメラは、増設経費を新年度予算で要望しています。緊急メールは、現在約4割の小学校が独自に導入済み。新たに導入の考えがあれば、健康教育課にご相談ください。その他、ハード、ソフトあらゆる防犯機器等について、各校が個別の状況に応じた検討をしていただき、その効果等を報告してください。全市的な、防犯レベルの向上に繋がりたいと考えています。

“Hello Safety” 大宮西小学校

本校の学区は交通量も多く、以前から交通安全に力を入れてきました。しかし、近年の小学生をねらった事件などから、防犯についても強化を図っています。

まず、PTA活動として、毎日登下校時に、朝は旗振り当番、放課後は防犯パトロールと輪番制で交差点や横断歩道などに立ち、子どもたちを見守っています。

次に、交通指導員・交通安全協会の方には、防犯にも力を貸していただいています。また、防犯ボランティアさんは、登下校時間に合わせて、学校独自のバンダナを巻いた犬の散歩をしたり、ベストを着て正門や要所に立ち寄りして見守っていただいています。

また、2学期より学校警備員が半日配置となりましたが、午後はボランティアとして活動していただいています。多くの人の目のリレーにより、子どもたちを見守っています。

今後は、警察や自治会・青少年育成会等の方々を交えての「学校安全ネットワーク協議会」を開催し、地域との連携を強めていく予定です。

“Hello Safety” 岩槻小学校

本校は、「学校安全ネットワーク推進モデル校」の委嘱を受け、自治会長による防犯ボランティア活動を母体に「学校安全ネットワ

ーク」の拡充を目指しています。毎学期に1回防犯ボランティア連絡会議を開催し、自治会長と各地区の保護者の代表、PTA会長等が集まり、登下校の安全を中心に児童の健全育成について話し合い、防犯に対する共通理解を図っています。

このたび、モデル校の委嘱を受け、次の点について重点的に取り組みました。

- ①自治会とPTAとの連携を強化し、各地域の情報交換を密にし、危険箇所を確認する。
- ②各クラスの担任に防犯ベストを配布し、毎月の一斉下校の時に着用し、教職員の防犯意識を高める。
- ③学校便りや学年便り等を通じて防犯を呼びかけ、地域の子供も達は、地域で守り育てる事の大切さを呼びかける。
- ④校門近くに看板を設置し、犯罪防止につながるように努める。

11月19日(金)には、全校児童で日頃お世話になっている、防犯ボランティアの方々や交通指導員、こども110番の方々をお招きして感謝集会を開きました。感謝の気持ちを一人ひとりが作文に書き表わし手渡すと共に、児童が育てた花鉢をプレゼントしました。また、ゲームを通じてお世話になった方々と交流を持ち、地域の大人とこども達が、目に見える形でコミュニケーションを図りました。



下校時の様子

左:
大宮西小学校

下:
岩槻小学校



防犯ワンポイントアドバイス



本市は4月から、学校警備員半日体制を含む

子どもたちを見守っていく考えです。そこで今回は、埼玉県警の防犯担当者から「学校安全ネットワーク」推進に際しての留意点を伺いました。「さいたま市内における平成22年中の声かけ事案は282件で、前年の171件と比べて明らかに増加しています。被害は午後4時をピークに3時から6時に集中し、約8割が道路上での単独行動時となっており、さらに、下校や帰宅途中の被害が約6割という状況です。これらの傾向から、児童の下校時の対策に重点を置くとなると、学校警備員の午後配置は有効でしょう。業務委託契約書にも『1日1回低学年児の下校時における通学路の巡回』と記されています。働きに出る保護者は登校時の見守りを分担し、下校時は警備員や地域の方々の力を借りる。こうした現実的かつデータに基づく対策が重要だと考えます。」